

月刊 MARUSHO

2018年 4月号

丸庄発、選りすぐりの情報をお届けします。



あなたの会社名の由来は何ですか？

丸庄は
和紙問屋の丸屋^{まるや}(屋号)
庄兵衛^{しょうべえ}(創業者名)が
由来です

新年度が始まると、名刺をよく目にする機会が増えますね。そんなとき、何気なく見ている社名ですが、創業者の想いが詰まったものやダジャレでできているものなど調べてみると面白いと思いました。今回は身近な社名の由来をご紹介します。

株式会社ドトールコーヒーの「ドトール」とは？

コーヒーショップでお馴染みのドトールコーヒー。「ドトール(doutor)」とはポルトガル語で、「医者」「博士」という意味で、英語でいう「doctor」とほぼ同じ意味になります。創業者の鳥羽博道氏がブラジルのコーヒー農園で働いていたところ、下宿していた場所が「ドトールピントフェライス通り85番地」であったことから、その後日本に帰り会社を設立した際にそのころの気持ちを忘れないために名づけたそうです。

DOUTOR

ちなみにドトールのロゴですが、それぞれの文字に縦の線が入っていますね。これ

はコーヒー豆をモチーフにデザインされているのです。そして「DOUTOR」の「O」の部分だけ黄色く斜めになっています。実はこれにもちゃんとした意味があります。ドトールは英語圏では「ドーター」と間違っただけで発音されてしまうことがあるそうで、ちゃんと発音してもらうために「ここにアクセントをつけるんだよ!」という目印として「O」の部分を目立つように黄色く斜めにしていると言われています。その情報を聞いて改めてロゴを見ると他の文字よりも「O」が少し高い位置にあり、アクセントがわかるように強調されていますよね。間違っただけで発音をしている外国の方がいたら「アクセントを置くのは黄色「O」だよ」と教えてあげてください。



株式会社ロッテの「お口の恋人ロッテ」って誰なの？

ロッテの社名は、創業者の重光武雄さんが愛読していたドイツの文豪ゲーテの「若きウェルテルの悩み」のヒロインである「シャルロッテ」に由来するのだそうです。

キャッチコピーでもあり、コーポレートメッセージでもある「お口の恋人」には、「永遠の恋人」として知られるシャルロッテのように、いつまでも皆様から愛される存在でありたいという想いが込められているそうです。

お口の恋人

LOTTE

今回は食べ物中心な社名の由来になってしまいましたが、また機会がございましたら、紹介していきたいと思います。もし創業年数の節目のお客様は、名刺などにひとこと社名の由来を入れてみるのも新しい話題になって良いかもしれません。お客様の社名の由来も今度ぜひお聞かせください!

春の話題 続々更新!丸庄情報だけでなく、北千住・足立区のお得な情報をFacebookで掲載しています。励みになりますので、皆さんの

いいね! をお待ちしております!

まるイロ Facebook

SEARCH





最後ページの豆知識

新年度に入り、夏の展示会に向けて新しくカタログを改訂増刷される方も多いのではないのでしょうか？ 今回は、最後のページで見かけるアレについて知識を深めます。

■奥付(おくづけ)

本の最後や巻末、表4などで題名、著者、発行者、発行所(出版社)、印刷所、製本所、著作権表示、発行年月、版数、刷数、ISBNコード、価格などが書いてある部分ですが、法的に義務付けなく、慣習として奥付表記が行われています。奥付は本の身分証明書のような物です。ここでは奥付のわかりにくい項目をご紹介します。

■題名(書名)

本の正式名称が記載されています。表紙にサブタイトルがゴチャゴチャ書かれていて、本の名称がわからない場合は奥付で確認すると良いです。

■版・刷

2版3刷といった具合に書いてある物ですが、それぞれ意味が異なります。「版」・・・印刷の元となる版の変更回数を示します。つまり、本の内容が変わった時に版が変わります。

「刷」・・・印刷回数を示します。大人気で追加注文が多い場合、同じ版を使って何度も印刷・製本を行います。

つまり、大人気で同じ本の注文が繰り返し入ってくるような場合は増刷を行うので、「刷」部分が増えていき、時代の変化などの理由で改訂を行う場合は「版」部分が増えていきます。「刷」部分が多い本は、時代に関係なくそれだけロングセラーだということがわかります。

■著者・編集

本を書いた人、若しくは団体です。出版社と同一視されることがありますが、文面・図柄を作成した人と考えてみてください。

■発行所

本を発行する人になります。著者とは異なります。出来上がった本を量産し、広く販売する行為であり、大手出版社の名前が入っていることが多いです。

■印刷所

印刷を担当した会社の名前が入ります。私たち丸庄の社名が入ることもありますが、身が引き締まります。

■印行(いんこう)

通常「印行名」といわれ、印刷物を製作した印刷会社の名前のことです。書物の場合は前述した奥付、カタログや帳票の場合は左右下の隅にいれることが多いです。

この印行名の存在意義は、前回印刷した印刷会社・部数・印刷した年月日を入れておくことにより、いつ印刷したものか、何部印刷したのか、印刷物そのものからわかるので、次の印刷発注に役立てたり、印刷会社側では、在庫管理に役立てたりしています。

例えば、同じようなデザインの書類を改訂して一部変更になったとき、印行の日付を変更するルールを定めると、印行により新旧が判断できますので、古い印刷物を間違えて使用する事故を防ぐことができます。

また、発注部数を書いておくと、定期的増刷する印刷物などは、前回の部数がわかりますから、発注がスムーズです。印行、ぜひ使ってみてください。

■良く見かける印行(ご参考にしてください)

作成月 訂正回数 部数 印刷会社(丸庄)
例) 18 - 04 - 0 - 3000 - MA

ニッチな情報を毎週水曜日配信中! ▶ [週刊marusho](#)

カタログをスマートにまとめたい・・・ そんな時に大活躍!! スマートバインダー

カタログやパンフレットを1つにファイリング。

1冊だと他のカタログに埋もれてしまうカタログもオリジナルバインダーに挟むことで、見つけやすく、取引先の受注チャンスを逃しません!

今なら4月中にご注文いただいたお客様を対象に

デザイン制作からの場合は表示価格より10%

印刷のみの場合は5%引き致します。

この機会にぜひご注文ください。

詳しいご質問・お問い合わせは弊社営業担当まで。

Tel. 03-3881-2131 (代)

まるカタ Vol.7
P.18に掲載



スマートバインダー

500冊：¥150,000

サイズ：W240×H310×背幅20mm
仕様：シルク印刷1C/PP0.75mm厚 2穴金具付
最短納期：約2週間
※別途版代がかかります。